

KOIZUMI

— 違う発想がある

小泉産業グループ
COMMUNICATION
REPORT
2019

小泉産業株式会社

発行:2019年7月

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7
TEL.06-6262-1391 FAX.06-6262-1490

<https://www.koizumi.co.jp/>



適切に管理された森林で生産された木材を使ったFSC®認証紙を使用しています。



この印刷物は植物油インキを使用しています。

私たちコイズミはいつも、 「暮らし」のそばにいます。

毎日が少しでも楽しくなるように。

毎日が少しでも面白くなるように。

毎日が少しでも幸せになるように。

誰もが願う、そのところに寄り添う仕事を
積み重ねています。

「暮らし」は日常です。

当たり前そこにあります。

だからこそ、個性的でとがただけのものでは
主役の邪魔になってしまう。

かといって、普通すぎてもつまらない。

その繊細なバランスをカタチにするのが、
私たちの役目です。

毎日を楽しく、面白く、幸せに。

創業から培い続ける

「ひらめき」と「クオリティ」で、

地に足のついたイノベーションを続けます。

お客様の
「あ!これいいナ」の聲が、
今日も聞けますように。

Contents

メッセージ	02
小泉産業グループ 概要	04
小泉産業グループ トップメッセージ	06
小泉産業グループ 事業紹介	08

コイズミ照明(株)／トップメッセージ	10
コイズミ照明(株)／先駆事例～照明の制御技術	11
コイズミ照明(株)／物件紹介	13
コイズミ照明(株)／海外展開	15

コイズミファニテック(株)／トップメッセージ	16
コイズミファニテック(株)／協力工場との取り組み	17

(株)ハローリビング／トップメッセージ	18
(株)ハローリビング／ 特注品の企画・制作・施工事例	19

(株)ホリウチ・トータルサービス／トップメッセージ	20
(株)ホリウチ・トータルサービス／ 新規オフィス家具の搬入・施工事例	21

コイズミ物流(株)／トップメッセージ	22
コイズミ物流(株)／ 新設備導入で業務効率アップ	23

小泉産業グループ トピックス	24
コイズミブランドの歩み	26

報告対象組織

本レポートでは、持株会社である小泉産業(株)と国内
事業会社5社、合計6社の取り組みについて報告しており
ます。対象となる会社は以下のとおりです。

■ 小泉産業(株)	■ コイズミ照明(株)
■ コイズミファニテック(株)	■ (株)ハローリビング
■ (株)ホリウチ・トータルサービス	■ コイズミ物流(株)

< 報告対象期間 >
2018年4月1日から2019年3月31日まで(当社2018年度)。
※一部、2019年度の内容を含みます。
発行日 2019年7月(次回発行予定2020年7月)

小泉産業グループ 概要

Koizumi Sangyo Group Overview

私たちコイズミはいつも、「暮らし」のそばにいます

創業から300年。
私たちコイズミは常に
お客様の「暮らし」のそばにいます。
長い歴史の中で、そのフィールドは
世界へも広がっています。

Domestic and overseas networks

国内ネットワークと海外ネットワーク

海外子会社

6社

国内事業所

80カ所

国内子会社

7社

Koizumi Sangyo Group Overview

小泉産業グループ各社概要

小泉産業株式会社

本社所在地 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7
代表者 代表取締役社長 梅田 照幸
創業 1716年(享保元年)

設立 1943年6月25日
資本金 1,575百万円
従業員 74名

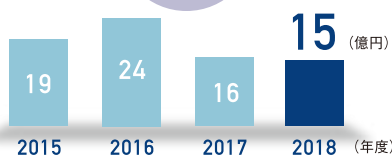
事業内容 持株会社
子会社 13社
(うち連結対象11社)

会社名	本社所在地	代表者	設立	資本金	従業員	事業内容
コイズミ照明株式会社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7	代表取締役社長 梅田 照幸	2006年 4月1日	450百万円	659名	照明器具の企画・開発・製造・販売
コイズミ照明 デバイス株式会社	〒559-0031 大阪市 住之江区南港東8-4-47 プロロジスパーク大阪5 3階	代表取締役社長 梅田 照幸	1981年 6月8日	10百万円	16名	LED用部材・電源等の支給販売と資材 倉庫運営、製品・部品の貿易業務、照明 器具の簡易加工業務
コイズミライティング 株式会社	〒529-1512 滋賀県 東近江市大塚町1289-2	代表取締役社長 吉田 卓	1966年 10月20日	100百万円	231名	照明器具の開発・製造
小泉産業 (香港) 有限公司	Units A-B, 26th Floor, 8 Hart Avenue, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong	董事長 中島 誠一	2002年 3月11日	HK \$ 2,078,000	13名	照明器具の企画・販売 他
東莞小泉照明 有限公司	48 wenquan south road,xihu district,shilong town,Dongguan city, Guangdong province,China	董事長 杉本 健	2009年 7月20日	RMB 3,462,316	178名	照明器具の開発設計・製造
克茲米商貿 (上海) 有限公司	10 FA, Meihuan Tower, No.107 Second ZhongShan Road(South), Xuhui Dist., Shanghai, China	董事長 杉本 健	2006年 11月15日	RMB 2,936,976	49名	照明器具の企画・販売、照明デザイン、 アフターメンテナンス
コイズミライティング シンガポール PTE.LTD.	41 Ubi Crescent Singapore 408588	Director(CEO) Dave Wee	1994年 8月11日	S \$ 1,000,000	33名	照明器具の販売、 照明デザインと取付工事
コイズミライティング ベトナム CO.,LTD.	Room 202, City View Building, 12 Mac Dinh Chi Street, Da Kao Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam	代表取締役社長 河合 健	2018年 10月8日	US\$ 200,000	3名	照明器具の企画・販売 他

売上高(連結)



経営利益(連結)



従業員数(連結)



Group structure グループの体制 (2019年度)

小泉産業株式会社

コイズミ照明株式会社

コイズミ照明デバイス株式会社

コイズミライティング株式会社

小泉産業(香港)有限公司

コイズミライティングシンガポールPTE.LTD.

東莞小泉照明有限公司

克茲米商貿(上海)有限公司

コイズミライティングベトナムCO., LTD.

コイズミファニテック株式会社

コイズミサンギョウ(タイランド)CO., LTD.

株式会社ハローリビング

株式会社ホリウチ・トータルサービス

コイズミ物流株式会社

事業別売上高構成(連結)



Group philosophy グループの理念

社 是 人格の育成向上

グループ経営理念
新しい着眼と独自の発想で
新たな価値を創造し
人と社会に夢と感動をつくり出します

グループ行動理念

- 積極果敢にチャレンジし、目標を必達します
- 自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます
- 互いに学び、人間力を高めます
- 現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します
- 三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります
- 社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します

グループビジョン
私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する愛される
“価値創造の専門集団”をめざします

会社名	本社所在地	代表者	設立	資本金	従業員	事業内容
コイズミファニテック株式会社	〒557-0063 大阪市西成区南津守2-1-30	代表取締役社長 矢本 博康	2006年 4月1日	100百万円	29名	学習環境家具の企画・開発・製造・販売
コイズミサンギョウ (タイランド) CO.,LTD.	134 Cholacin Building, 3rd Floor, Surawong Road, Siphraya, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand	代表取締役社長 若林 俊宏	1995年 5月24日	THB 5,000,000	8名	家庭用家具・店舗用家具・特注家具・ 店舗用什器の企画・開発・製造・販売
株式会社ハローリビング	〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-13-27 アイカビル8階	代表取締役社長 石尾 泰裕	1981年 7月2日	20百万円	45名	住宅設備機器の販売・取付工事
株式会社ホリウチ・ トータルサービス	〒143-0022 東京都大田区東馬込2-19-11	代表取締役社長 権藤 浩二	2003年 4月1日	70百万円	147名	ホテル、オフィス、商業施設等への 家具・什器・設備等の搬入設置
コイズミ物流株式会社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7	代表取締役社長 八田 康	1999年 5月25日	50百万円	71名	グループ各社と外販得意先の輸配送・ 保管・荷役

Koizumi Sangyo Group

Top message

小泉産業グループ



2018年は体制整備に注力 事業再編や広告展開で 「顧客志向」の姿勢を重視

2018 年度は、付加価値創出の為に、様々な事業基盤を整えた一年でした。大きく事業構造を見直したグループ会社もあり、グループ全体の業績は少し厳しい結果となりましたが、変化する時代に合わせた種蒔きと体制整備ができたと思っています。

具体的には、①付加価値創出に向けた事業再編 ②小泉成器とのブランド推進 ③働き方改革の具体的な実践 ④「_違う発想」を業界や社会的レベルで実現する人材育成があげられます。①は、2014年からコイズミ照明とコイズミファニテック2社が連携して進めていたコントラクト事業を、コイズミ照明の一部門に吸収し、新組織(市場開発本部 施設家具事業部)を作って、別々だった窓口を一本化しました。主にホテルを中心としたお客様に対し、照明をベッド、サイドボードなどの家具一式の造作も含めた、より付加価値の高い空間提案を行います。ベッドのヘッドボードに入れたアップライト、テレビの上のダウンライト、室内灯などをすべてスマートスピーカーで操作できる制御システムの導入はわかりやすい一例かと思います。また、搬入・設置・施工はホリウチ・トータル

「違う発想」と「三方よしの精神」で 社会性の高い持続

サービスが行うため、グループの総合力を活かし、お客様にとってメリットの大きいワンストップサービスを提供できます。市場の大きな伸びが期待されるホテル・オフィス・店舗などの領域でコイズミブランドの総合力を結集した価値創造を目指します。②は、その『コイズミブランド』を幅広いステークホルダーに親しみや信頼感を持って知っていただくための広報活動の強化です。当社では、2013年よりブランドを同じくする小泉成器とともにプロジェクトを立ち上げ、広報活動を行ってきました。2018年度は、新たな取り組みとして、年間4千万人が通行するJR大阪駅前の大型ランドビジョンに広告を出しました。また、プロサッカーチームJ1セレッソ大阪とゴールドスポンサー契約を締結しました。スタジアムなどで当社の企業ロゴが観客の皆様をお迎えします。サッカーを通じて地元・大阪の活性化及び、市民スポーツの振興に貢献するセレッソ大阪を、グループ一丸となり応援します。小泉成器も含めた当社グループの製品は一般ユーザーにとって身近なものがほとんどです。今後も引き続き、多くの人々がコイズミブランドを知り、そして身近に感じていただけるような広報活動に取り組んでまいります。

ブランドステートメント 「_違う発想がある」の深化で 業界のパイオニアを目指す

③ は、コイズミ照明で、テレワークの試験的導入をスタートさせました。その中で、営業部門のシェアオフィスを活用することで、働き方の変化を検証しました。3カ月のトライアルの結果、残業時間が13%削減し、顧客訪問件数が21%増加しました。2019年度は、対象部署を拡大し、さらに検証を進めてまいります。④はお客様から「あ!これいいな」と感じていただける「違う発想」を生み出せるマインドの醸成を図りました。例えば、「違う発想」について、「過去の自分」との比較から、「社会や業界」という、もっと広い視点で考える意識付けをするように、特に若手には厳しく指導しています。今後は、「違う発想」を深化させることで、社会的価値の高い成果をあげていくのが目標です。

その他のトピックスでは、主力の照明事業で新たな成長の柱となりうる取り組みが着実に進んでいます。それは本レポートでも数年に渡りご報告してきた照明制御の国際標準通信規格『DALI』です。まだDALIが日本では評価されていな

可能な企業グループを目指す

かった頃から未来を見据えて導入し、コイズミ照明R&Dセンターで活用・実験をしながらお客様にご紹介できるデータを集めてきました。今や、業界全体がDALIに注目するようになっています。このように、いつも業界のパイオニア的存在になれるよう、「違う発想」のある企業グループを目指します。

持続可能な企業グループに 現代の「三方よし」を叶える グッド・カンパニーを体現する

2020 年の大きなテーマは「グッド・カンパニー(いい会社)を創る」です。持続可能な企業グループとなるために、具体的な方向性を示して、グループ全社をあげて取り組むことを全社員に周知徹底しました。ステークホルダーによって見方は違いますが、経済的に優れ、社会的に

信頼される企業グループこそが「グッド・カンパニー」であると考えています。特に社会的に信頼される為の非財務視点である「環境・社会・企業統治」への取り組みは、300年以上前の創業期から掲げている近江商人の心得「三方よし」を現代に合った形に変換したとも言えます。「自分たちさえ儲かればいい」という考えは、今の世の中では通用しません。私たち一人ひとりが真の「違う発想」と「三方よしの精神」で、コイズミの新しい強みを発揮し続けてまいります。

小泉産業株式会社
代表取締役社長 梅田照幸

「商売が学べる、鍛えられる会社に入りたい」と昭和47年、小泉産業入社。平成22年4月より小泉産業・代表取締役社長。「違う発想」のために「手を動かし自分で試してみる」ことを大切にしている。パーソナルトレーナーのもとでのトレーニング、ガーデニング、読書などが息抜きであり楽しみ。



グループ全体で 快適空間を提供します

様々な「空間」に「ひらめき・ときめき」を提供するのが私たちの願い。あなたの街のあちこちにコイズミの姿を目にすることができるでしょう。

Koizumi DIVISIONS

LIGHTING

照明事業

(コイズミ照明株式会社)

「あかり文化」の 創造をめざして

住宅照明と店舗・施設照明を事業領域に、照明器具の企画・開発から各種空間の照明設計までをトータルに展開。あかりによる快適な空間づくりを通して、新しい「あかり文化」の創造と省エネルギーに貢献できる製品の提供をめざしています。

店 舗



無印良品 銀座

住 宅



海 外



PUMA Select Element store (香港)

FURNITURE

家具事業

(コイズミファニテック株式会社)

学習家具の リーディングカンパニーとして

子どもの成長を支える「学習家具事業」を展開。現在から未来まで、子どものことを第一に考えた、成長に寄り添って長く使っていただけるモノづくりに取り組み、健康、安全と環境に配慮した製品・サービスを提供しています。



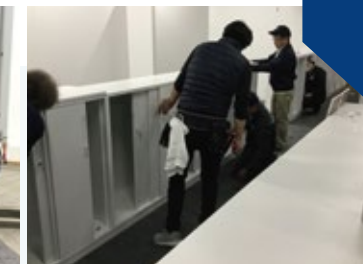
SET UP
SERVICE

セットアップサービス事業

(株式会社ホリウチ・トータルサービス)

物流の枠組みを越えたサービス体制を構築

全国のホテルや病院、商業施設、学校や競技場やホールなどへの什器・家具等のセットアップ(搬入・設置)を主力事業として全国で展開。グループ会社との協業により、商品の通関からデバンニング、保管、搬入、設置、廃棄まで、「品質」「安全」を最優先に、新たな付加価値のあるワンストップサービスを提供しています。



HOUSING
FACILITIES

住設販売事業

(株式会社ハローリビング)

インテリアから家電、内装材まで



各種インテリア製品や家電製品などの住宅設備機器の販売を行う「インテリア事業」や、住まいを美しく保ち商品寿命も永くする内装材の施工などを行う「コーティング事業」を全国で展開し、快適な生活空間をトータルに提案。また、「省エネソリューション事業」では、オフィスや工場などの使用電力削減に繋げるなど企業の課題解決にも貢献しています。



LOGISTICS

物流事業

(コイズミ物流株式会社)

価値あるロジスティクスを創造

グループ内各社のロジスティクス機能を総括的に担うとともに、長年にわたるグループ内物流で培った経験とノウハウを活かし、「電材業界」「家具業界」「家電業界」などの流通チャネルを中心に、幅広い業界のお客様に最適な物流ソリューションを提供しています。



Koizumi Lighting Technology Corp.

コイズミ照明株式会社

コイズミ照明株式会社 代表取締役社長

梅田照幸

あかりのテクノロジーを磨き、いち早くニーズに応える

「違う発想」の体現を地道に模索 時代に先駆け、先進のテクノロジーで 快適な「あかり」を追求

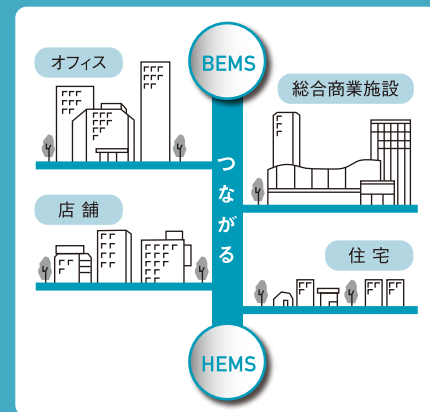
2018年度は、店舗・施設などの非住宅市場で、ECサイト拡大の影響による出店数の減少や、建設計画の後ろ倒しなどにより、着工数が前年を若干下回りました。このような市場環境の中で、業績は少し厳しい結果となりましたが、顧客ニーズに応じて「あかりのテクノロジー」をいち早くご提案できる体制を整備しました。多くの業界でIoT化が進む中、当社は照明制御の国際規格『DALI』を5年前から取り扱い、自社オフィスにて、検証データを収集してきました。オフィスを中心とした施設分野で、徐々にDALIシステムを導入いただいています。また住宅分野では、HEMSに対応するため、異なるメーカーの製品でも接続可能な国際標準通信規格の『ECHONET Lite』に対応した通信アダプタ『スマートアダプタ』等をオリジナルで開発し、照明コントロールアプリ『TRee』と同時にリリースしました。さらに業界に先駆けて、スマートスピーカーとも連動させ、利便性を向上させました。スマートアダプタ等の機器により、多様な住宅照明制御が可能となったことで、2018年は大手住宅メーカー様のショールームで採用をいただき、多くのお客様に体験いただけるようになりました。また、HEMSと接続するエネルギー管理システム（BEMS）との連携を推進し、2018年度は大手住宅メーカー様のショールームで採用をいただき、多くのお客様に体験いただけるようになりました。また、HEMSと接続するエネルギー管理システム（BEMS）との連携を推進し、2018年度は大手住宅メーカー様のショールームで採用をいただき、多くのお客様に体験いただけるようになりました。

ここ数年、「国際基準」や「グローバル化」への対応も進めており、昨年度はベトナムに新会社を設立しました。これまでの海外展開のノウハウが蓄積され、事業拡大を担う人材育成も進んできたと感じています。

2019年度の展望

信頼できる「つながる」を提案

2018年度に続き、制御分野は大きな市場の伸びが期待できます。住宅・店舗・施設で「制御と言えばコイズミ」と信頼いただけるようオープンプロトコルの活用や独自のスマートコントロールシステムの構築などにより、付加価値を創出します。



人材育成で「人間力」アップ

ブランド価値そのものである「企業力」の土台となる「人間力」の育成に力を入れます。当社オリジナルの制度「コイズミアカデミー」に加え、OJTでのナレッジ共有を強化し、顧客満足に貢献する人材を育成します。

Business Topics 01 | 先駆事例～照明の制御技術 |

先を見据え、顧客志向で着手した 制御技術が現代のニーズに合致 ノウハウ・経験・商品数すべてが充実

今求められる照明とは「単体の器具」ではなく 様々なコトとの「つながるあかり」

照明業界は、白熱灯や蛍光灯を使用し、明るさを追求していた時代から、ほとんどの照明器具がLEDに変わるという大転換を遂げました。また、IoTやAIなどデジタル技術の発達もあって、さまざまな設備や機器に“つながる”ことが求められる時代にもなっています。つまり、従来の照明器具単体のビジネスから、設備や機器とのシステム連動と高度な制御により、利便性・快適性・省エネなどの多様なニーズに、いかに対応出来るかが重要になっています。当社では、住宅などの小規模空間には、ECHONET Lite規格の『TRee（ツリー）』システム、店舗などの中規模空間には、『Wlief（リーフ）』システム、オフィス・ホテルなどの大規模空間には『DALI（ダリ）』システムと、それぞれの規模に合わせた制御システムをご用意し、さまざまなニーズに対応できる体制を整えています。



メーカー横断で制御が可能 お客様の選択肢が広がる 国際標準通信規格『DALI』

中でも、照明制御の国際標準通信規格である『DALI』を使った制御は、規格に準拠した器具であればメーカーに捉われることなく同一システムで制御できるため、「お客様の選択肢が広がる」というメリットがあります。以前は照明器具と制御システムとが同一でないと動作保証を出来ないことが多く、メーカーを横断した照明制御の普及は進みませんでした。当社は専門メーカーのメリットを活かし、「顧客志向」の視点から取り扱いをスタート。2015年に東京ショールーム、2017年にはコイズミ照明R&DセンターにDALIシステムを導入しました。これら業界に先駆けた活動は、現在大きな資産となっています。また、DALI対応アイテムも発売当初の2015年は約300点でしたが、順次アイテム数を増やし、現在は約3000点となり、順次導入が進んでいます。

現在は、より説得力のある提案ができるよう導入効果の検証にも注力しています。自社オフィスでの働き方改革など、従業員がその良さを体感する取り組みでは、時代に合ったさまざまな検証データが集まり始めています。



コイズミ照明株式会社
商品管理統括部 特機商品部 部長
千田 亨

平成7年入社 照明空間設計LCR(東京・大阪合わせて12年)では、店舗施設を中心に景観照明設計まで行った。店舗施設マーケティングを8年経て現職。特機商品部の部長は4年目となる。違う発想のために心がけていることは、「仕事やプライベートで人の話をよく聞いて、さまざまな価値観を認めること」。

コイズミ照明の「照明制御システム」



住宅などの
小規模空間に



店舗などの
中規模空間に

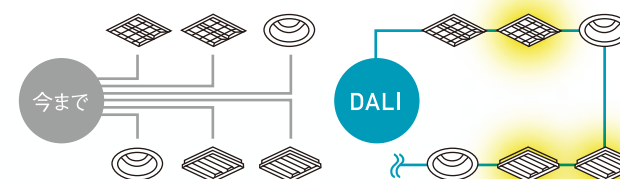


オフィス・ホテルなどの
大規模空間に

DALIにできること

①個別制御機能

- DALI対応器具の使用により、同一回路内で個別に調光や調色が可能
- 回路分けが不要なため、施工が容易



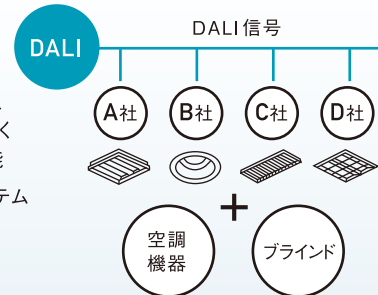
②双方向通信

- 器具の状態監視だけでなく、調光や電源などの制御もできて、一カ所で複数の施設管理が可能



③オープンプロトコル

- DALI対応器具であれば、メーカーに捉われることなく同一システムで制御可能
- ビルエネルギー管理システム（BEMS）との連動で、空調やブラインドなども同時コントロール可能



コイズミ照明R&Dセンターで 照明制御に従業員が日々体感 リアルな声とデータで効果を検証

2017年に開発し、DALIによる照明・空調・ブラインドの制御システムを導入したコイズミ照明R&Dセンターには、開発部門だけではなく、企画・デザイン・照明設計・LCR・営業・品質・アフターサービス部門など、多様な働き方をする従業員が集まっています。それぞれの働き方により、最適な職場の「あかり環境」は異なります。たとえば、「事務作業に適した光」、「クリエイティブに適した光」など、従業員自らが体感することで、オフィスにおける光と働き方の関係を検証。省エネ率や、勤務する従業員の残業時間について、データを収集・集計しています。

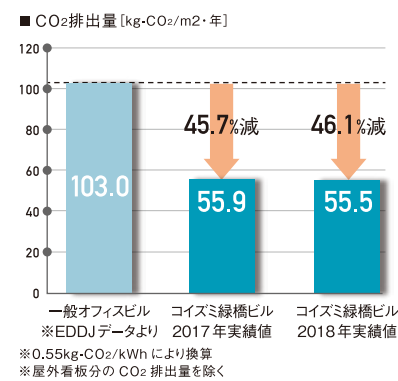
CO₂の排出量は、予想していたよりも削減することができ、一般のオフィスビル（※）と比べて約46%の削減となりました（下図1）。また、一日の太陽光の変化に合わせて、DALIによる制御で色温度を変化させたことにより、快適性の向上に加えて、各自の時間意識を高めるきっかけにもなりました。そして、残業時間は、社内の働き方改革による取り組みとの相乗効果もあり、一人あたり年間約20%減少しました（下図2）。また、入居前と入居後に施設利用者の満足度を調査するPOEアンケートでも、さまざまな項目が改善するという結果が出ています（下図3）。さらに検証を重ねながら、実証データに基づいたトータルな照明提案で、お客様のニーズにお応えしていきます。

※比較対象の一般オフィスビルのエネルギー消費量は、ECCJ（一般財団法人省エネルギーセンター）データを元に算出



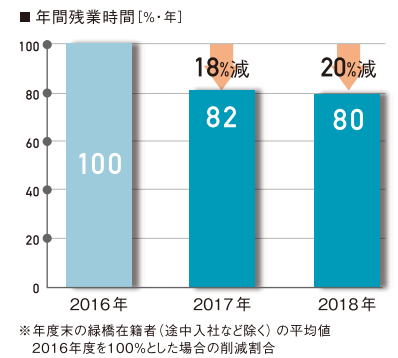
1.CO₂削減結果

検証結果（2017年4月～2019年3月）



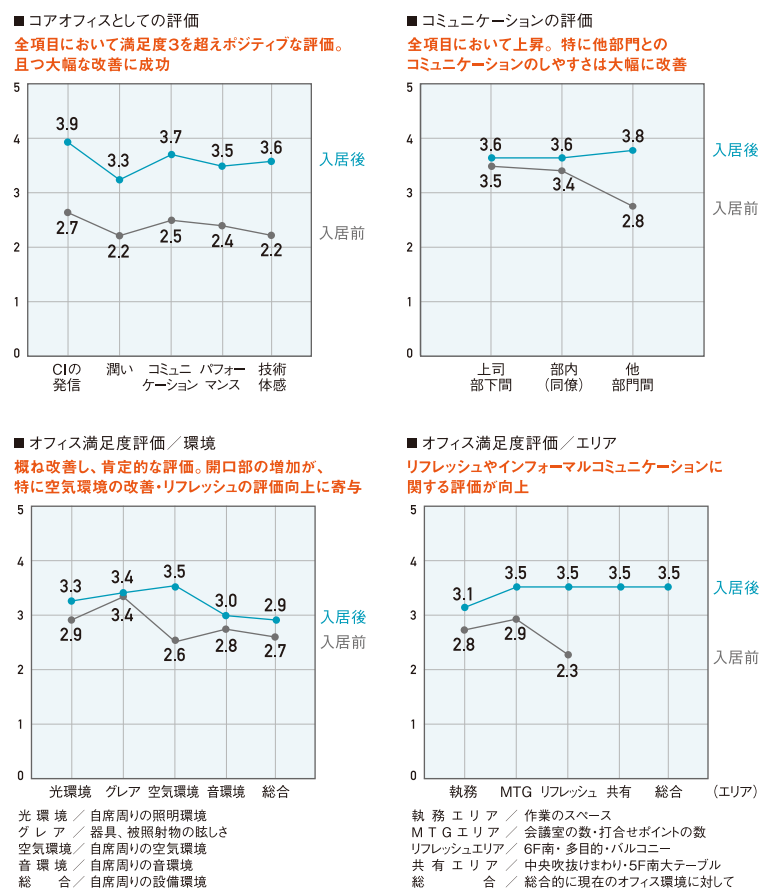
2.残業時間削減結果

緑橋事務所



3.入居前・入居後の働き心地に関するアンケート結果

コイズミ緑橋ビルPOEアンケート結果（回答者181名/5段階評価）



アクリルと和紙が融合した別注の照明器具を開発 「伝統と革新」を表現しながら 美しい空間と施主様の想いを広げる「光」に



撮影：鈴木文人

宿泊施設 京都 神楽岡 蓮月荘
所在地／京都市左京区
事業主／トラスコ中山株式会社様
設計／株式会社日建設計様
照明設計／コイズミ照明㈱
LCR東京・熱田友加里

京都らしい伝統と格式を保持し、かつ企業価値を高める最高級のゲストハウス兼保養施設を目指して建てられました。照明は「光で空間を広げる」をコンセプトに計画。客室内に導光板照明による『光の欄間』を提案。古来より自然光を取り入れ空間を仕切るという役割を果たしてきた欄間の機能を、人工光の「面」によるやわらかな仕切りとして空間に落とし込み、コンセプトを実現しました。また、オーナー様が想いを込めて名付けた建物名にちなみ、月の光に照らされた「蓮の池」を和紙の重なりで表現した行燈も提案。導光板照明と行燈は、水族館の水槽パネルをつくるアクリル技術を駆使しています。伝統素材と最新技術が融合した照明器具は、日本建築になじむ仕上がりとなりました。

- 01 導光板には和紙を封入。アクリル工場での実験や、ショールームで原寸モックアップを見ながら打ち合わせを行い、無事完成に至った
- 02 2019年 照明学会 照明デザイン賞優秀賞を受賞
- 03 行燈は「浮葉（うきは）」と命名。蓮月荘の世界観を凝縮した存在に

お客様のイメージを実現するため器具を開発 お客様と一緒にって取り組み 理想と考えるミニマルな空間を実現

文化施設 ハナマルキ 伊那工場「みそ作り体験館」
所在地／長野県伊那市
事業主／ハナマルキ株式会社様
建築設計・施工／株式会社 竹中工務店様
照明設計／コイズミ照明㈱ LCR東京・佐藤絵美

味噌作りを体験・学習できる施設建設にあたり「建築に溶け込み、1種類の器具だけで建物全体を構成できるライン照明を」というご要望をいただきました。通常は物件に適した既製品で照明計画をご提案しますが、今回はより最適な光を提供すべく新しい器具開発をすることに。社内一丸となって取り組んだのはもちろんのこと、お客様と検討を重ねながら照明計画を進めたことで、お客様の理想と考えるミニマルな空間を実現できました。当器具は他の物件に採用いただくという結果へもつながっています。

- 01 独特の白いフォルムが特徴的な、みそ作りを体験できる施設
- 02 今回開発した器具は、その後プロパー商品として商品化が実現
- 03 お客様の理想だったミニマルな空間に



建築の魅力的な特徴を際立たせる光 緻密な計算で照明光と自然光の 明るさのバランスが整えられた空間を実現



lina!
あ!これ
いいナ

**医療
福祉
施設**

KOJIMA DENTAL CLINIC

所在地／大阪府貝塚市
事業主／小島歯科様
デザイン／株式会社乃村工務社様
(松浦竜太郎様、岩木友佑様、倉知優歌様)
照明設計／コイズミ照明株式会社
LCR 東京・河野昂太郎

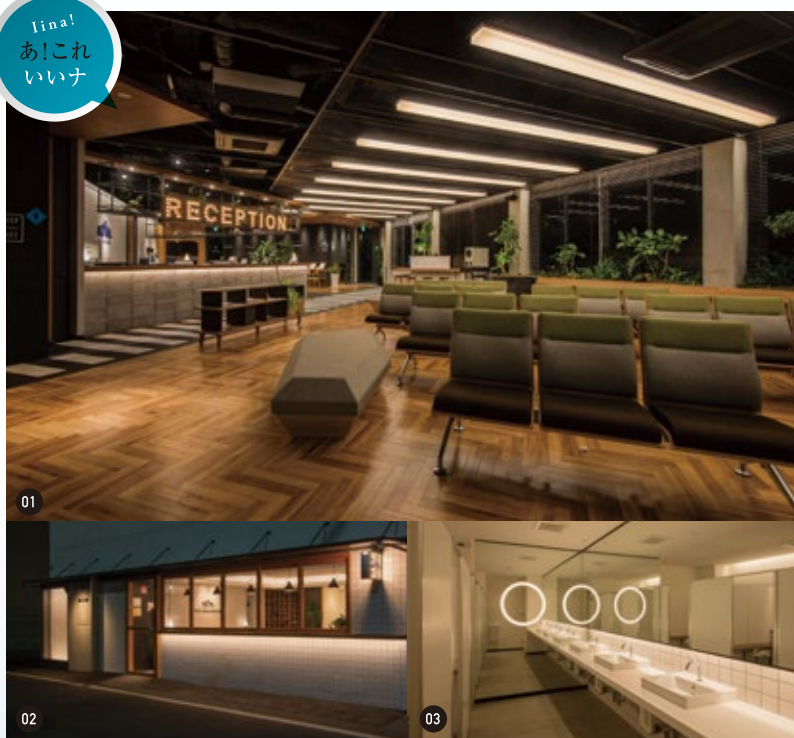
以前よりプロジェクトの設計依頼をいただくなど、接点のあった内装設計のお客様からのお声掛けにより、新規プロジェクトとして参画したデンタルクリニックの移転工事。オーナー様からは「既存の店舗の明るさを維持したい」というリクエストでした。また、家のようなかたちが建築デザインの特徴のため、その形状を邪魔しないよう、照明器具を建築に溶け込ませながら家のかたちを浮かび上がらせる計画を行いました。天井・壁の輝度を計算しながら求める明るさのバランスを実現できる別注器具を製作し、照明デザインコンセプトに沿った光環境をつくり出すことができました。

- 01 院内の光環境は、適切な明るさのバランスがとれたものに
- 02 照明器具が建築のノイズとならず、デザインを引き立てるように計画
- 03 コミュニティスペースを併設したデンタルクリニック。自然光を活用し、必要最低限の照明で明るさを演出

物件の個性を引き出し、特性に配慮 グレアの低減で落ち着きある空間創り 多様な照明器具で遊び心を演出

路上の様々な素材を内装材に取り入れた自動車学校のプロジェクト。建築や家具と絡む照明が非常に多く、挑戦的でやり甲斐のあるものでした。そのため、デザイン事務所様・ゼネコン様・サブコン様と密な連携を取り、細部までクオリティの高い照明空間を実現することを目指しました。様々な人が集まる交差点のような賑やかな空間を創るため、間接照明やスタンドライト、ボール球型のランプなどあらゆる照明を使用したプランを作成。横断歩道や信号機など、道路上のエレメントをオマージュしたのも特徴のひとつです。また、ロビーで過ごす時間も寛いでいただけるよう心がけ、グレアの低減にも配慮。天井を見上げて眩しさを感じないよう、輝度を調整してあります。

- 01 ホテルのロビーのように居心地良い空間
- 02 間接照明の柔らかな光でまとめつつ、内照式のコーポレートサインのみ輝度感のあるランプを使用して引き立たせた
- 03 奥の壁面には、ミラーの反射を用いて信号機をオマージュした内照式の照明を製作。機能性にも配慮し、人の目線の高さに設けることで、メイクの確認などにも利用することができる



2019年1月ベトナム・ホーチミンにコイズミライティングベトナム開設 アジア・中東市場への展開を目指す

300年以上の歴史と信頼が強み 各国の発展に役立つ「続く企業」に

当社では以前から海外での事業展開を視野に1990年頃からヨーロッパのメーカーとの業務提携や中国などでの海外生産及び販売を行ってきました。中国での事業基盤拡大とともに、販売エリアを東南アジア、さらにはアジア全域に拡大。世界の照明の成長市場が中国、東南アジアへと変遷する中で、変化に対応した海外でのビジネス展開をしてきました。

ベトナムは、2009年頃から現地パートナーを通じて販売を開始。2016年には、ホーチミン市内の日系高級百貨店様へ納入させていただきました。市場の活発化、案件の増加などから今回ホーチミンに会社を設立。2019年1月から事業を開始しました。ベトナムでの体制を強化するとともに、今後のインドや中東への展開を見据えています。早速、日系企業を中心としたお客様からの期待の声を多くいただいています。

コイズミ照明の強みは、販売だけでなく、設計や提案、メンテナンス・フォローなどトータルなサービス提供です。そして何より、300年以上続く企業としての信頼です。ベトナムの文化を理解し、発展に貢献し、ベトナムに根付いた永続企業として活動をしていきたいと考えています。

社員紹介 | Member's Voice |

海外展開の最前線を、ダイナミックに体感できるやりがいのある仕事です

現在、入社9年目。日本で海外進出をするお客様や設計事務所の営業開発などを担当後、2018年4月よりシンガポールに赴任しています。海外での仕事は、お客様の海外展開に寄り添いながら、「コイズミ照明が海外に拡大する」ダイナミックな現場にも立ち会えます。また、多様な人種が集まり、さらに入れ替わりの早いシンガポールにいる

ため、対話の際に「この方のバックグラウンドは何か」「期待していることは何か」に、より一層フォーカスするようになったことも収穫でした。照明業界はどんどん進化しています。当社がブランド発信力を高めてお客様に魅力を感じていただけるよう、私のできるコミュニケーションをさらに深めたいと思います。

コイズミライティング シンガポールPTE.LTD. 村岸真衣



Koizumi Furnitech Corp.

コイズミファニテック株式会社

昭和52年小泉産業入社。平成29年より経営戦略会議のメンバーとしてコイズミファニテックに参画、令和元年・代表取締役社長に。「違う発想」のために心がけているのは「立ち止まって違う視点で物事をみる」こと。休日は、土曜日は妻との時間、日曜日は自分の時間と、メリハリをつけて過ごしている。

コイズミファニテック株式会社 代表取締役社長

矢本博康

「学び」のビジネスに特化。マーケットインで事業を変革

53年の歴史で培った信用を武器に 学習家具事業を新たなステージへ 時代のニーズに合ったビジネスを創る

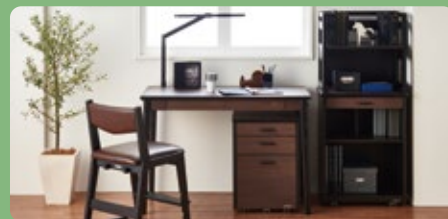
2018年度は事業構造の大きな変革を実行した一年でした。ここ数年、学習机を含めた家具市場の変化に対し、新規事業を立ち上げるなどして対策を計ってきました。しかし、後発のビハインドを十分に払拭できず、思い切って事業体制を変革する決断をしました。具体的には、リーディングカンパニーとしての強みと経験を活かし、あらためて学習家具事業に特化していきます。なお、ホテルやオフィス向けの施設家具はグループ会社のコイズミ照明㈱に窓口を一本化することで、より効率的な体制に切り替えます。また、好評のマットレスは、代理店として当社が引き続き販売します。

今後の戦略は、刻々と変わる学習家具のニーズにあらためて向き合い、データを基にしたマーケットインのモノづくりや、事業体制構築、人材育成などを強化していきます。たとえば、営業面では、購買のトレンドに合わせ、受注生産によるオーダー学習家具を検討し、一年を通して販売できる可能性を探ります。また、商品開発では、コンパクトに収まる奥行の机、長く使えるシンプルなデザイン、タブレット端末を置ける棚など、多様化するユーザーのニーズを捉えたモノづくりが進んでいます。就任のご挨拶で全国の家具店様に足を運んでいます。ある家具店様からいただいた「学習机は子どもが初めて持つ『城』のようなもの」という言葉が印象に残っています。協力工場様との連携を図る「家具協力会」の力も借りながら、市場のニーズに合った高品質なモノづくりを続けてまいります。

2019年度の展望

多様化するニーズに合わせた 学習家具の提供

「デザインは好きだけど、もう少し小さければ」、「もう一段引き出しがあったら」などの微細なニーズに対応できるよう、パターンオーダー学習家具の可能性を探ります。



WEBサイト、SNSを活用した 新たな販路づくり

お客様の購買スタイルに合わせて、当社・販売店様・ユーザーの「三方よし」につながるWEBサイトの構築やSNSの活用などを模索します。



Business Topics | 協力工場との取り組み |

海外の協力工場が年2回集合 活発なコミュニケーションで、QCD向上につなげる「家具協力会」

2018年度はベトナムで総会を開催 幹部クラスの対話が具体的な成果を生む

当社のモノづくりが「QCD（品質・コスト・納期）」の質を高めるには、複数ある海外の協力工場との協働が欠かせません。そのため、ノウハウや課題の共有を行う「総会」と、当社の方針の浸透を図る「方針発表会」を毎年1回ずつ開催しています。中国・インドネシア・マレーシア・台湾など、各国から協力工場の幹部や担当者が集まり、活発なコミュニケーションをとります。2018年度の総会では、協力工場のナレッジ共有や当社への要望のプレゼン、品質改善で成果をあげた工場の表彰を通して、意見交換がされました。参加者からは「生産工場とここまで深い連携を取ってくれるパートナーは珍しい」など、時間をかけて集まる意義を感じていただいています。また、本会を通じ、協力工場間で技術の横展開や新たな品質管理のルールづくりなど、具体的な成果が生まれています。



2018年度の総会には、協力工場（部品工場・完成品工場）28社67名が参加。方針発表やノウハウ共有のプレゼン、工場視察などを行った

Iina!
あ!これ
いいナ



02

01 耐久性の高いピアノ線コイルを使い、直径・厚みを調整。「高級ホテルの寝心地がこの価格で」と驚かれることも
02 30坪のスペースに多様なマットレスを展示

マットレス事業は継続展開 業界のプロも訪れるショールームで 「上質な眠り」をご提案

コイズミが手がける「眠りのビジネス」 家具店とのタッグで付加価値提案

コイズミ照明とのシナジー効果が図れるマットレスは、代理店販売を継続。300種類以上のコイルの組み合わせで多様な眠りのニーズを実現する国産マットレスで勝負します。その寝心地を体感できるよう、販売店様とのコラボレーションでショールーム展示を拡大します。2018年度は、BtoBのお客様も訪れる名古屋の『インテリアスタジオCOCO fes. (ココフェス)』で展示がスタート。名古屋にはコイズミ照明のショールームもあるので、連携を取りながら、お客様に最適な眠りと目覚めをご提案しています。

担当者の声 | Voice of KOIZUMI |

「学び」と「眠り」のビジネスに「いいナ!」を生み出します

ひとつの学習机に使われる部品は100点以上。当社オリジナルのパーツも少なくありません。協力工場様との連携で、お客様に安心して購入いただけるモノづくりを続けます。また、マットレスも大きな可能性のある製品です。コイズミならではの提案にご期待ください。



コイズミファニテック株式会社
取締役 家具事業部 部長
若林俊宏

昭和58年小泉産業入社。調達、営業、商品企画、生産管理と家具に関する幅広い業務に精通。「家具協力会」発案者でもある。違う発想のために「感性」を高めることを徹底。休日はスポーツや観光など感動体験にチャレンジしている。

Hello Living Corp.

株式会社ハローリビング

昭和53年小泉産業入社。北海道、名古屋、金沢、東京などでの勤務を経て平成23年よりハローリビング代表取締役社長に。単身赴任のため長期休暇の家族サービスは欠かせない。違う発想のために心がけているのは、マンネリを避けるため「同じことを5年以上続けない」。

株式会社ハローリビング 代表取締役社長

石尾 泰裕

「対応地域・商材・サービス」の拡大でワンストップの強みを活かす

商材の手配から購入者との折衝まで「窓口ひとつ」を叶えるパートナーとして手間をいとわずチャレンジする

当社は4領域の事業、①戸建て新築事業、②戸建てリフォーム事業、③分譲マンションオプション事業、④店舗や工場、オフィスなどを指すストック非住宅事業を展開しています。2018年度の業績は、ほぼ前年度並みでしたが、それぞれの事業で今後につながるトピックスがありました。たとえば、①②では従来の主力3商品（照明、インターホン、分電盤）に加え、火災感知器（熱感知器／煙感知器）、TV用分配器の納入が可能になり、お客様のご要望に一層お応えできる商品ラインアップに強化しました。上記5点は住宅の必須アイテム。当社が取り扱うことで、住宅メーカー様の手間が省けることにもなります。

また、グループ会社のコイズミ物流㈱と連携し、別々に納品するのではなく、一括納品を可能にしました。③は、2016年度からはじめて設計変更業務、2017年の㈱サンシャイン統合による顧客拡大という流れに乗り、好調な結果となりました。設計変更業務は外部プレーンとの連携を強化することで自社内にノウハウを蓄積。関東・中部・広島・福岡で体制を整えました。①～③共通では、要望の多い飛散防止、遮熱などの窓フィルムやフロアコートなどの新商材導入も進めました。なお、④は主にコイズミ照明と連携したLED化による省エネをはじめ、今後まだまだ拡大出来る領域だと考えております。

The Next Deployment

2019年度の展望

マンションの設計変更受付拡大

現在の4地区に加えて、2019年は近畿地区でも対応できる体制を整えます。そのためには、販売会に若手社員を参加させるなど徹底したOJTや、マニュアルなどのしくみ作り、働き方改革への対応などにより、人材育成と優秀な人材確保に力を入れていきます。



顧客ニーズを捉え、商機拡大

全国には工場や倉庫など、LED化が進んでいない物件が数多くあります。また、マンションの共用部などの大改修も大きな商機ととらえ、顧客ニーズに高品質なサービスで応えていきます。



Business Topics | 特注品の企画・制作・施工事例 |

30社以上がひしめく激戦区にモデルハウスの集客を支える唯一無二のシンボルが完成

西日本鉄道株式会社 戸建住宅事業部様



自由度の高い注文住宅が評判。香椎浜展示場で提案した「キッズコーナーに電車の運転席を作る」が好評で、大野城展示場ではキッズコーナーと全室のインテリアコーディネートを担当。

Iina!
あ!これいいナ

行き先案内板には西鉄グループのビジョン「まちに、夢を描こう」をデザイン。西鉄様の特性を随所に活かすべく、交通系カードの案内シールや車内に貼られたドライバー募集のポスターなども現物を使用した

- 01 座席や運転席、車体の一部、ヘッドライト・テールライト、降車ボタンなどほとんどがホンモノをそのまま使用。ライトは点灯し、降車ベルも鳴る
- 02 フォーカルポイント(その部屋で最も目を惹く点)はネイビーのタイルに黒を合わせてブルックリンスタイルに。カウンター&ダイニングは造作家具を手配
- 03 寝室の壁は調湿・消臭効果の高いタイル仕上げ。シックなライトが映える



多様なプロと試行錯誤を重ねた本物仕様のキッズコーナーは西鉄様の特長が活かした工夫満載

今 回いただいたのは「バビロンの楽しいモデルハウスを作ってほしい」というご要望。ターゲットとなる若いご家族を集客できる、大人から子どもまで楽しめる「本物」にこだわったコーナーをご提案し、提供いただいた廃バスを再利用した、西鉄様ならではの、キッズコーナーが完成しました。前例のない仕事で、すべてが試行錯誤。デザインイメージを基にバスの解体工場へ何度も通い、責任者と打ち合わせ。現場での組み立ては電気工事・造作家具など多くの職人さんや、西鉄バスの課長様なども立ち会い、約20人のチームで行いました。モデルハウスでは、「お客様はここでお子さんの写真を撮ってから見学されます。『これを見たくて来ました』という方もいるくらいです」とのお声をいただいています。

担当者の声 | Voice of KOIZUMI |

お客様の強い信頼に応え、期待を超えることに尽力します

西鉄様のモデルハウス案件は2件目。1件目は廃車となった鉄道の座席を使ったキッズコーナー制作でした。大変ご好評をいただき、今回は当社単独のご指名で受注。エリアやターゲットの特性を知り尽くしていること、初めての試みを形にした実行力を評価いただけたようです。対応の幅広さを活かして今後もお客様の課題解決に貢献していきます。



株式会社ハローリビング
九州営業部 部長
岩田 幸治

入社26年、一貫して福岡市近郊を担当。地域特性に精通する。「違う発想」のためには一人で考えず、周囲を巻き込み明るい雰囲気でお話しながら知恵を出しあうようにしている。

Horiuchi Total Service Corp.

株式会社ホリウチ・トータルサービス

昭和51年小泉産業入社。平成25年より当社代表取締役社長に。小泉産業・代表取締役専務取締役も兼務。「違う発想」のために心がけているのは「常に明るく、スピード感を持つ」こと。業界内で自社の個性を確立するとともに、どこまで拡大できるかが現在最大の関心事。

株式会社ホリウチ・トータルサービス
代表取締役社長

権藤 浩二

スタッフ力×しくみ強化で高品質なサービスを提供

明確な方針と着実な実行力で 業績好調だった2018年度 人材育成やしくみ作りも順調

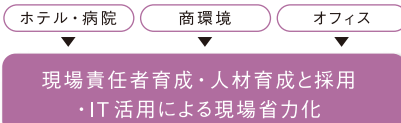
売上・利益ともに前期を上回ることができ、好調な2018年度となりました。要因は、明確に打ち出した方針を社員が真摯に取り組む実行してくれたこと。具体的には①優良顧客との取り組み拡大、②生産性向上のためIT化、③研修の徹底によるスタッフのスキル向上、の3点があげられます。①では、今後ますます需要が見込まれるホテルやオフィスなど、業態を明確にして、より業務の質を向上させることで、売上・利益をしっかりと確保することを周知徹底しました。②では、2018年度は、現場の作業進捗や不具合情報など、写真を添えてリアルタイムにやりとりできる「現場管理システム」を開発し、試験運用を開始しました。現場での移動時間の軽減や、お客様との情報共有が確実かつスムーズに行え、作業工程の効率化が期待できます。③については、ホテル・オフィス・商環境（店舗など）といった当社が注力する業態ごとに施工技術が高められるよう研修を強化。全国の社員・契約社員の教育計画を年間立て、社内の熟練者を講師にトレーニングを実施しました。受講者が新しい技術を習得するだけでなく、教える側も教えることを通じて学ぶという好循環も生まれています。その上で、全国に営業所がある当社の強みを活かし、学んだ技術をすぐ活かせる案件にアサインして現場経験を積ませるようにしています。明確な方針・しくみ作り・強い現場の三位一体は、今後も強化してまいります。

The Next Deployment

2019年度の展望

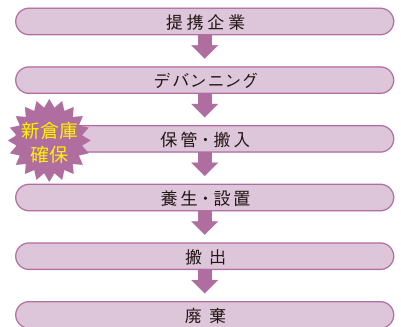
現場の生産性を高めプロ集団を創る

オフィス特化の営業所をすでに開設。2019年度は協力会社のスタッフを研修に招いたり、要望の高い女性チームも編成したりする予定です。



保管・運送の充実でサービス拡大

東京・大阪に保管用倉庫を新たに確保。従来当社が提供していたワンストップサービスを拡大させます。



Business Topics | 新規オフィス家具の搬入・施工事例 |

全国の拠点から人材を確保 機動力と長年のノウハウで 搬入から施工まで一括請負

水戸市役所様



茨城県の県庁所在地・水戸市の新庁舎。震災の影響で建て直しがあり、2019年1月に竣工された。地下1階、地上8階建てで、木の温もり溢れる相談室、誰でも利用できるレストランなど市民に開かれた空間。

Iina!
あ!これ
いいナ

一人ひとりを真の「マイスター（職人）」にすべく、教育に力を入れる当社。今回は、納入予定の製品を使った施工研修を実施した。仙台など遠方の応援作業員も研修に参加し、万全の体制に

01 現場管理者から仕様の注意点や施工不備を共有した上で、作業員たちと話し合いながら全員で改善策を見出す。一人ひとりの自主性を促すマネジメントを重視している

02 03 荷下ろしは熟練者を配置。施工の順番やエレベーターの運行状況を把握しながら搬入をマネジメントすることで、効率よく作業できる



事前教育と現場でのきめ細かな マネジメントを強みに完工 直前の工期短縮にも柔軟に対応

当社は、什器の搬入・組立・設置までを担当。万全の体制を整えるべく、早い段階から人材確保を開始し、全国5拠点からのべ466人を集めました。オフィス家具は同じものを大量に施工するため、スピードとムラのない仕上がりの両立が必至。そのため、実際に施工する製品を購入し、事前に施工研修を実施。施工中には毎朝の作業員ミーティングを徹底しました。また、今回の案件は、当初2ヵ月の工期予定が施工1ヵ月前に短縮せざるを得ない状況となり、実質21日間で完工。想定外の事態があっても、長年の経験と機動力を発揮して納期を守ることが、当社の信頼に繋がっています。

担当者の声 | Voice of KOIZUMI |

搬入と施工を一括でお受けできるのが当社の強みです

お客様からは「窓口がひとつで済むため業者の手配やマネジメントの煩雑さが解消でき、コスト減につながる」と喜ばれています。木製品の知識・経験が豊富な作業スタッフも多く、たとえばオフィス案件での造作家具の加工にも対応が可能。「こんなことできる?」をぜひご相談ください。



株式会社ホリウチ・トータルサービス
営業本部 東日本営業部
水戸営業所 額賀 隆二

オフィス分野は社内でも研修講師を務めるほど詳しい。趣味はキャンプ。スキレットで作るチーズケーキが得意。「逃げない」をモットーに、難題を断らず「違う発想」を出すよう努めている。

Koizumi Logistics Service Corp.

コイズミ物流株式会社

昭和55年小泉産業入社。平成29年よりコイズミ物流・代表取締役社長に。「違う発想」のために心がけているのは「過去の成功にとらわれず、自らの強みを決めつけない」こと。趣味はマウンテンバイクによるサイクリング。自然豊かな奈良の町を駆け巡るのが休日の気分転換になっている。

コイズミ物流株式会社 代表取締役社長

八田 康

自立・能動型社員とハードの充実で「高品質物流」を実現

変化の波へ果敢に挑戦
安定・高品質の物流を確保し
「コイズミなら安心」を目指す

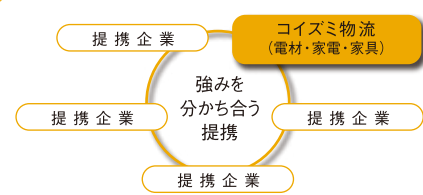
2018年度は前期より売上を伸ばすことができました。同時に、中期計画通りに大きな先行投資をした一年でもあります。埼玉県春日部市にオープンした延べ床面積・約6400坪の新拠点は、開所2ヵ月足らずでフル稼働。このほか、毎年意欲的に構築してきた全国配送ネットワークも後押しとなり、当社の重点方針である3PLを中心とした外販拡大に寄与しました。また、国際物流も前年比180%アップで、40フィートのコンテナを550本扱うことができました。もう1つの投資は、主に家電製品を取り扱っている埼玉営業所に、自動仕分機を導入し、ピッキングや流通加工の省人化・省力化ができました。システム面では、それまで「経験と勘」に頼ってきた仕事をKPIに基づいて評価・管理し、荷主様へのご提案や協力会社様との対話に活用することができるよう「新物流情報システム構築プロジェクト」をスタートさせました。人材面では、自立・能動型人材の育成に注力。今年も物流技術管理士合格者が出ましたが、自主性を追求すべく公募制で取り組んでもらっています。今後も、拠点の核となる自立型社員を育て、ハードとの組み合わせで全国の販路を拡大していきます。

変化の激しい物流業界において、「コイズミに任せれば安心」と言っていただける高品質の物流サービスを創り続けることが私たちのミッション。経営スローガンの「人間性を尊重し物流品質と安全をすべてに優先させます」は、社内にもお客様にも等しく意味を持つ言葉です。これからも着実に体现してまいります。

2019年度の展望

物流子会社との業務提携拡大

高い専門性を持つほかの物流子会社との強力な業務提携を進めています。お互いの得意分野を分かち合うことでWin-Winとなる新しいスタイルを目指します。



拠点機能を再編集・新拠点も開設

外販をさらに拡大する戦略のもと、全国拠点の機能見直しを進めます。外販用スペース拡大のために、福岡にも新拠点を開設予定です(2021年)。

● 営業所・出張所
● 中継拠点



Business Topics | 新設備導入で業務効率アップ |

人材不足、複雑化する作業 物流業界が抱える課題に ハード面から活路を見出す

コイズミ物流株式会社 埼玉営業所



小泉成器の東日本エリア(東北・首都圏・長野・甲信越)の配送を担当。家電量販店やホームセンターを中心に、ネット通販の個人客向け配送も数多く手がける。各エリアの協力運送会社を活用して、翌日配送できるネットワークが強い。



lina!
あ!これいいナ

バーコードを読み込むだけで荷物の仕分ができるため、外国人や高齢者などの多様な人材が活躍できるのに加え、新しく入った人でもその日からすぐ仕事ができる

- 01 02 30店規模の家電量販店様からは、店舗別かつフロア別納品、当日出荷・当日納品と緊張感の高いリクエスト。自動仕分機に店舗×フロアで分けるようプログラミングすれば、作業員はレーンから流れてくる商品をオリコンに詰めて最終チェックをするだけでよく、100を超えるフロア別のピッキング作業が格段に効率化された
- 03 自動仕分機の動画をホームページで公開

2018年9月、自動仕分機が稼働 安定した物流品質を確保すべく 「誰でも・簡単に・ミスなく」を追求

年々、業界を取り巻く環境が厳しくなっています。とくに、人材不足や人件費上昇に加え、扱う商品のサイズや種類の多様化・納品先のニーズの複雑化といった品質面での難しさも高まっています。そんな中、「効率よく・ミスなく・安定した配送」を実現するのが我々の役目。埼玉営業所では、全社に先駆けて自動仕分機を導入し、成果を上げ始めています。たとえば、170店規模の家電量販店様向けの店舗仕分作業ではスパン(保管棚)からピッキングされた全商品を店舗ごとにピックアップする工程に活用。ベテランに任せていた作業が誰でも担当できるようになったのに加え、必要な作業員数が半分に、作業時間も3割減となりました。お客様のニーズに応えながら、今後も活用を拡大していきます。



担当者の声 | Voice of KOIZUMI |

業界のニーズ変化を敏感に察知し、お応えし続けます

新設備の導入で、手の空いたベテランがより複雑な作業や課題解決に注力できるようになり、全体の品質アップに繋がっています。コスト減、ケース不良のチェック強化や各種ラベルシール添付のご要望、ミスなく配送など、近年、物流業界で求められる「品質」の意味合いが変わってきました。ニーズに的確にお応えできる方法を今後も模索してまいります。



コイズミ物流株式会社
第一事業本部 第一事業部 部長
篠原 武志

埼玉・南港営業所長を経て平成30年4月より現職。「違う発想」のために、現場の声を聞くことを徹底。それらが材料となり、オフ時間のワーキング中にアイデアがひらめくことが多い。

小泉産業グループ トピックス

Koizumi Sangyo Group Topics

Social Contribution Activities グループの社会貢献活動

小泉産業(株)と小泉成器(株)で続ける 児童養護施設への 「デスク・コタツ寄贈活動」

自社製品を社員の手でお届けする、
「ふれあい」を大切にした社会貢献活動。
2012年からはじめて今年で8回目となりました。
子どもたちとの交流から、社員は元気をいただいています。

2018年度は埼玉県に訪問。22ヵ所・合計50セットを寄贈

例年、3月下旬の春休み期間中に、コイズミグループの社員が児童養護施設を訪問しています。お届けするのは、自社製品である学習デスクとコタツ。子どもたちと協同で組み立て作業をする時間も、大切な交流の時間です。

今年度は、3月27日に羽生市の「あゆみ学園」で贈呈式を実施。午前中は、27名の子どもたち、8名の職員と社員が一緒になってデスクとコタツの組み立てに汗を流しました。社員は子どもたち全員が安全にケガなく組み立てに参加できるよう、配慮しながら作業をサポート。子どもたちは、自分たちが使うものとあって、説明書や工具の使い方を確認しながら夢中になって組み立てを行いました。

午後は贈呈式を行った後、若手社員が先生となり「あかり教

「数字で見るデスク・コタツ寄贈活動」

回	実施年	実施地区	府・県数	施設数	参加 社員数	デスク 台数	コタツ 台数
1	2012年	東北	3	13	2	40	—
2	2013年	大阪	1	16	7	50	—
3	2014年	九州	8	24	24	50	—
4	2015年	中部	5	19	25	50	—
5	2016年	栃木	1	8	18	50	30
6	2017年	中国	5	30	32	50	50
7	2018年	四国	3	17	17	50	50
8	2019年	埼玉	1	22	21	50	50
合 計			27	149	146	390	180

室」と「ドライヤー教室」を実施。男の子に人気だった「あかり教室」では、時代とともに変化してきた「あかり」について、実物を見せながら紹介。「ドライヤー教室」は女の子たちが興味津々で、教室が終わった後も「教えてもらった乾かし方を今日からやってみます」と言って、ドライヤーを手取る姿がありました。

寄贈活動の終了後は、各施設からお手紙やデスクを使っている写真が届きました。「子どもたちが熱心に勉強するようになりました」という施設職員さんの声、「組み立て楽しかったです。勉強頑張ります」という子どもたちの声など、たくさんの感謝の言葉をいただき、私たちの励みにもつながっています。「自社製品を通した心のこもった活動」を、これからも当社は続けてまいります。



子どもたちと一緒に行ったデスク・コタツの組み立ての様子

Communication Activities 企業コミュニケーション活動

お客様との接触ポイントを増やし より身近で愛される 「KOIZUMI」ブランドをめざします

私たちコイズミの製品は、一般ユーザーの皆様にとって身近なものばかりです。ただし、ビジネスで直接取引をするのは企業のお客様なので、なかなか、一般ユーザーの目に留まる広報活動の機会を持てませんでした。2018年は、企業のコミュニケーション活動の強化を図り、皆様の「暮らしのそばにいる会社」の姿をさまざまな方法で発信しました。

Group Vision グループビジョン

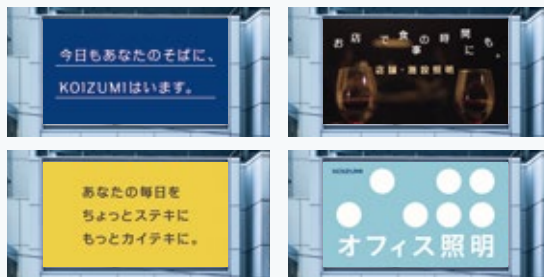
私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する
愛される“価値創造の専門集団”をめざします

2018年度の企業コミュニケーションは、グループビジョンに立ち返り、一般ユーザーの皆様を対象とした情報発信活動を強化しました。私たちコイズミのパーソナリティ、強み、生み出す価値、ビジネスの領域などがわかりやすく伝わる内容を吟味し、コンタクトする「場」を選択しました。

Activity 1

JR大阪駅前の 大型ランドビジョンでの広報

年間約4,000万人が通行する関西最大の駅、JR大阪駅前の大型ランドビジョンで、当グループがお客様に提供できる「価値」をお知らせする動画のオンエアを開始しました。初回の動画は、その価値を「時間」におきかえ、「生活者の毎日をステキでカタイキにするお手伝いがしたい」というグループの思いを表現した内容になっています。 ※契約開始:2019年3月～



Activity 2

プロサッカーチームJ1 「セレッソ大阪」へのスポンサード



当グループと同じく大阪を本拠地とするセレッソ大阪をゴールドスポンサーとして応援することで、スポーツによる地域振興の一端を担います。それに連動したスタジアムへの企業ロゴ看板の設置などを通して、地域の皆さまに「より身近な」存在をめざします。 ※契約開始:2019年2月～

Activity 3

コーポレートサイトのリニューアル

小泉産業グループは「どのような考え方で何をめざしているのか」「どのような人格の企業か」「どのような価値をお客様に提供できるのか」「具体的にどのような活動を行ってきた(行っている)のか」がわかりやすく伝わることと、サイト訪問者にとってより使いやすいサイトになることをめざして、ホームページのリニューアルを行いました。 ※リニューアルサイトのオープン:2019年4月1日～



コイズミブランドの歩み

Koizumi Brand History

「快適な空間づくり」のパイオニアとして 「違う発想」の PRODUCTS を 生み出し続けています

私たちのブランドステートメント「__違う発想がある」は、グループの歴史を凝縮した言葉とも言えます。
常に、思いもよらない発想と革新性で「あ!これいいナ」と多くの人々の心を動かす価値を創造してきました。
これからも、「快適な空間づくりのパイオニア」として、人と社会に夢と感動を提供し続けていきます。

